

# あじさい 173号

## もくじ

- 選挙どうしてる？
- 育成会 ing  
新年親子のつどい・新年会  
「知る見るプログラム」
- 全国大会・九州大会報告
- 福祉懇談会・意見を聴く会  
育成会フォーラム報告
- お知らせ

## ボウリング大会が開催されました！



10月5日、毎年恒例の育成会ボウリング大会がラッキーボウルで開催され、保護者も含め16名が参加しました。少人数ではありましたが、自分や仲間のプレーに一喜一憂しながら楽しいひと時を過ごしました。優勝は佐藤一朋さん、2位が中尾翔さん、3位は吉村昇剛さんでした。おめでとうございます！

11月17日にハートセンター文化祭が開催されました。当会余暇活動のスマイルくらぶで毎週だ4土曜日に実施している「書道教」室のみなさんの作品を数週間に渡って展示していただきました。

## ハートセンター文化祭が開催されました



# 選挙 どうしてる？



10月27日に衆議院選挙が行われました。みなさんは行かれましたか？  
「意思決定ができない」「字が書けない」「行ったことない場所には行きたがらない」など、様々な理由で知的障害のある人にとって選挙のハードルは高いのではないのでしょうか。そもそも政党の政策や候補者の主張を理解するのが難しい人にとって「選ぶ」ということができるだろうかという思いもあります。  
そこで今回、選挙についてどうされているのか、ご家族の方に聞いてみました。

## 選挙に行かない理由

「誰を選択すべきか考えること自体が難しい」「指差し呼称ができないため無理だと思い一度も連れて行ったことがない」「選挙権を持った年に1回だけ行ったが、結局本人がしっかり理解できていないのに投票はできないのではないかと思い、その後は行ってない」



やはり、知的障害があるが故に無理だという意見がありました。一方では親自身もそれほど中身を見て精査しているわけではなく、感覚で選んでいるので、そんなに変わらないという意見もありました。  
では選挙に行っているという方はどのようにして選んでいるのでしょうか？

「選挙公報を見せているが、本人にとっては分かりにくい。誰に入れるかは本人に任せている」「事前に投票する人、政党を決めて、紙に記入させ、それを持って投票所で見ながら書いている」「本人が決めているので基準は分からないが、自分なりに書いて投票しているようだ」「本人に任せているが、事前に顔写真を見せているので、好みの(?)顔と書きやすい名前を決めているかも」「漢字が好きなので、好きな字を書くように伝えていく」「間違ふといけなないので誰に入れるつもりか事前に確認し、政党はアドバイスしている」「事前に家族でも話すが強制はしない。女性議員さんが好きなのでそれで選んでいる」「家族間で選挙を話題にし、訴えをかみ砕いて話し、候補者が多いときは本人の気になっている人について説明している」「テレビや新聞を使って選挙の話をしている」



事前に広報や新聞などを見せることで前もって情報を提供するという声が多くありました。しかし最終的には本人の選択に任せ、名前や顔、好きな漢字で選んでいるのではという声もありました。

あじさい171号で、投票所でどんな支援をしてほしいかチェックを入れて入り口で渡す「投票支援カード」の導入についてお知らせしました。早速それを使った人もおられました。それ以前であっても障害があることを伝えてサポートを受けながらずっと投票しているというお話もありました。



「代筆をお願いしますと言うと、係の人が来て本人が差した名前を書いてくれる」「支援カードを使って誘導の希望を出しサポートしてもらいスムーズにできた」「親がそばに付き添ってなんとか投票しているが、そばに着くことを注意されたことはなかった」

一方でこのようなお話もありました。

投票所の係の方に「障害があるので支援をお願いします。」と言って投票支援カードを渡しました。私は息子の介助や支援が出来ないので少し離れた場所で見守っていました。係の方は障害のある人の投票支援に慣れてないのか少し戸惑われているようでした。息子に「自分で記入できますか？」と聞かれました。知的障害・発達障害の特性上、言われたこと、聞かれたことをそのまま繰り返してしまうことがあります。また迎合性が高くとえ出来ないことであっても出来ますと答えてしまいがちです。案の定、息子は「できます！」と答え、係の方は「まず長崎〇区の選挙区候補者の中から…」「比例区は政党名を…」と説明されました。当然知的障害のある息子にとっては理解できず???です。それでも何かを書いていた。自分が事前に書いて持参したメモを見ながら書いたのか不明ですが、係の人が息子の記入した箇所を訂正されたようで息子は少しパニックになりかけました。大きなパニックになることはなかったものもややした感情を抱えたまま投票所を後にしました。せっかく知的障害のある人にも選挙投票が出来るように合理的配慮のある支援ツールを作っても、知的障害・発達障害の障害特性を正しく理解してなければ絵にかいた餅状態になりかねないのではないかと思います。より実効性が高くなるようソフト面でも一人ひとりの障害理解が進んでいけばと思います。



投票所の係の方の理解不足、認識不足というお話はときどき聞きます。

支援カードを使うのは当然障害のある方たちです。障害特性やどのようなサポートをすればいいのか知らないと適切な支援はできません。投票はハートセンターで期日前投票をすると決めている方もいらっしゃいましたが、そこには、たくさんの障害のある方が来られる場所なので対応に安心できるという考えもあるようです。

#### 投票所で困ったこと、要望

「投票の時、鉛筆が折れたり、分からないことを大声で聞いたりして困った」「支援する人が障害のある人に慣れていない人だと、こちらで支援してほしい内容と違う支援になることがある」「ハートセンターでもっと長い期間投票できるようにしてほしい」「投票の手順が分かりやすくなるように、投票箱の色分けや順番の数字などと分かりやすい」

今回知的障害のある方の投票についてご意見をお聞きしましたが、「選択できないから行けない」という声がある一方で「権利として投票に行く」という声もあり、選挙に行くか行かないかはご家族の考えにも左右されるようです。また、選挙に行く方は必ずしも政策を理解した上で選択というわけではなく、本人なりの理由で選ぶことも受け入れて、「選挙に行きたい」という本人の思いを重視しておられるようです。「選挙に行くことで一人前の大人と感じている」「自己決定の一つなので、できるだけ本人の行きやすい状況を作ってやりたい」という声もあり、知的障害のある方たちが選挙に行きやすくなるような選挙公報作りや投票のサポートなど合理的配慮をもっと拡げていってほしいと思います。



# 育成会全国大会・九州大会開催

## 全国大会 秋田大会

10月12日、13日の2日間にわたり、全国手をつなぐ育成会連合会全国大会が秋田県で開催されました。東北での開催ということもあり当会からの参加者はありませんでしたが、「共生社会を目指し、将来を見据えた活動を続けよう」を大会スローガンの下、全国各地から大勢の人が参加しました。

1 日 目	第1分科会	子どもの育ちを考える（児童期）『インクルーシブな育ちと専門性の両立を考える』
	第2分科会	社会参加・就労を考える（成人期）『可能性を生かし、自分らしく社会へはばたく』
	第3分科会	親も本人も安心して年齢を重ねる（高齢期）『「親なき跡」と具体的に向き合う』
	第4分科会	知的障害者の権利を守る（権利擁護）『成年後見制度のあり方を考える』
	本人大会第1分科会	『みんなで話し合おう「私の夢」』
	本人大会第2分科会	『スポーツを楽しもう』
	本人大会第3分科会	『手作りワークショップ』
	バスツアー	Aコース：『真山伝承館・なまはげ館』 Bコース：『男鹿水族館 GAO』

2日目は『知的障害者福祉の未来』というテーマで全体会シンポジウムが行われました。

## 九州大会 宮崎大会

11月9日、「笑顔で安心して暮らせるこころ豊かな社会を目指して！」を大会テーマに、第63回九州地区手をつなぐ育成会宮崎大会が開催され、当会から本人6名を含む10名、県全体としては約50名が参加しました。中央情勢報告を皮切りに「自分の事は自分で決める 意思決定支援の在り方」をテーマにシンポジウムが行われ、保護者、施設、後見人、相談支援の立場から4名の発表者が、それぞれの意見を発表しました。



本人大会は①発表コース②室内活動コース③観光コースに分かれ実施されました。発表コースでは午前中はカードでテーマを決めておしゃべりをし、午後からは九州8県と福岡市、北九州市を合わせた代表10名がそれぞれの意見を発表しました。長崎県からは島原市育成会の本人さんが発表されました。

来年の全国大会は東京都、九州大会は沖縄県で開催されます。

## 育成会費納入のお願い

令和6年度の育成会年会費・賛助会費の納入を受け付けております。まだ納入されていない方は下記の口座にお振込みいただくと助かります。また、口座引き落としのお手続きをいただければ、毎年6月に自動で引き落としも可能ですので、ご検討ください。

お問合せは育成会啓発事業部

TEL 095-845-5677

十八親和銀行 浦上駅前支店

普通 口座番号 1248638

社会福祉法人 長崎市手をつなぐ育成会  
谷 美絵

## &lt;育成会 ING&gt;

**新年親子のつどい・新年会が開催されます**

令和6年度の新年親子のつどいと新年会を開催します。今年度はみなさんお馴染みのハートセンターで行います。ご本人やご家族のみなさん、奮ってご参加ください。また今年は5年ぶりに新年会も行います。こちらは新しい会場になりますが、久々の新年会ですので、ぜひご参加ください。

親子のつどい、新年会へのお申し込みは12月16日（月）までに啓発事業部まで。

啓発事業部：Tel 095-845-5677

## ●新年親子のつどい

令和7年1月11日（土） 13:00～16:00

ハートセンター3F 体育室

## ●新年会

令和7年1月11日（土） 18:00～20:00

長崎 IK ホテル（恵美須町 7-17）2F ※五島町電停より徒歩2分ほど

会費 6,000円

※ホテルのマイクロバス送迎はありません。公共交通機関での移動となります

**FICS 主催「みんなで知る見るプログラム」  
研修会が開催されます**

「みんなで知る見るプログラム」とは全国手をつなぐ育成会連合会が作成した「自分を知ることと自分の可能性を見ること」を目的とした障害のある本人向けのワークショップです。クイズやゲームのような形式のワークもあり、みんなでわいわい楽しんでもできるよう工夫されています。自分の気持ちや意見を言ったり、人の意見を聴くことでわくわくする気持ちも味わえます。FICS 主催では久々の開催となります。初めての方も大歓迎ですのでご参加ください。

今年は育成会事業所の本人活動連絡会の職員さんも来てくださいます。

令和7年1月12日（日）10:00～12:00（受付9:30）

ハートセンター2F 研修室

参加お申し込みは各事業所、または啓発事業部まで

Tel：095-845-5677

## 障害者福祉懇談会が開催されました

今年で56回目となる長崎市心身障害者団体連合会主催「令和6年度長崎市障害者福祉懇談会」が、鈴木長崎市長をはじめ障害福祉課のみなさんを迎え、長崎市役所2F多目的ホールにて開催されました。

毎年心身連所属の団体より様々な要望を上げて、長崎市より回答をいただきます。今回も各団体よりA項目8件、B項目8件の要望が提出されました。当会からは染色体障害児・者を支える会とともに「平成6年の法改正により通院等介助で『ヘルパー利用の自宅開始、自宅終了』が改正され、ヘルパーに事業所に迎えに行ってもらい通院というスタイルも可能になったので、移動支援でも同様な利用ができるようにしてほしい」「平成27年よりグループ支援型（利用者3名にヘルパー1名）が導入されたが、利用者3名中身体介護ありの方は1名のみというルールがありグループ支援が使いつらいものになっている」という要望を上げました。



長崎市長はじめ代表の皆さんに要望を説明する谷理事長

上記の要望に対する長崎市の回答

国が定める移動支援実施要項では地域の特性や個々の利用者の状況やニーズに応じた柔軟な形で実施することになっており、各市町の状況によって支援の内容も少しずつ異なっています。移動支援の自宅を起点及び終点とする規定については平成21年4月より特別な場合において（規定あり）は自宅以外を起点または終点とすることも可能になっておりますので、相談してみてください。

また、グループ支援の身体介護についてもその有無で一律に利用を制限するのではなく、状況に応じた支給決定をしております。対象者の安全面を勘案しながら適切にご利用ください。

どちらの要望も一概にできないというわけではなく、状況によっては検討の余地はあるというようなお話でしたので、お困りの際は諦めずにまず相談されてみてください。

## 障害者施策に関する意見を聴く会が開催されました

11月12日、長崎県庁にて令和6年度の「障害者施策に関する意見を聴く会」が開催され、諫早市、西海市、長崎市育成会本人会とふれあいネットワークピア長崎支部より代表4名が出席しました。長崎県障害福祉課からは障害福祉課長をはじめ6名の方が出席され、4名の話や要望を聞いていただきました。当会からはFICS会長の山元直喜さん（陽香里工房・GHはやま）が出席され、就労していた



発表者と支援の職員さん（一番右が山元さん）

頃周囲に受け入れてもらえず苦労した話や母親と離れ離れに暮らすことになりグループホーム入居となったいきさつ、今のホームでの生活についての話や一人暮らしへの夢について話されました。その中で、「障害者への偏見やいじめをなくしてほしい」「自分に合うグループホームが選べるよう、もっと数を増やしてほしい」という要望をされました。それに対し県障害福祉課からは、山元さんのこれまでの苦労を労いながら、「県としても障害の理解については街頭キャンペーンや分かりやすいリーフレット作りなど努力します」「グループホームについては支援者に相談しながら、自分に合ったホーム探しや一人暮らしに向けて頑張ってください」とエールをいただきました。

## 長崎県育成会フォーラムが開催されました

あじさい 172 号でもご案内しましたが、長崎県手をつなぐ育成会主催の「令和 6 年度ながさき育成会フォーラム」が 10 月 18 日に長崎県総合福祉センターにて開催されました。今年度は独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園理事長田中正博氏が、「強度行動障害を有する児・者への支援～中核的人材と広域的支援人材の活用～」というテーマで講演されました。

『強度行動障害』とは自傷や他害、奇声や暴言、破壊、多動など本人の健康や周囲の生活に影響を及ぼす行動が頻繁する状態を言います。これは生まれつきの障害ではなく、本人の持つ障害特性（コミュニケーションの苦手さや感覚の過敏性など）に周囲の環境や関り方が合っていないことで起こると考えられています。

のぞみの園では著しい行動障害を有する人への取り組みとして平成 17 年より行動障害支援モデル寮を設け、そこでの試行錯誤の支援を通じて特性に応じた支援やどのような工夫をすれば本人が安定して過ごせるのかの研究を続けていて、その研究のお話もとても興味深く聞くことができました。これらのノウハウも活用し、支援者の人材育成を目的に中核的・広域的支援人材研修を全国展開していきたいとお話もありました。また地域の支援者で互いに支え合い連携して支援を行うために行動障害支援者全国ネットワーク構築の構想もあり、今後強度行動障害の人たちがよりよい環境で適切な支援を受けながら安定して生活できる日を期待せずにはられませんでした。

また、今回国立のぞみの園編著の「みてわかる知的・発達障害者のしあわせな高齢期」という本の紹介もありました。のぞみの園での支援や研究から把握された事例をもとにご高齢のご本人を支える視点を投げかけることが目的だそうです。ご本人の加齢に伴う悩みや不安に対す分かりやすい回答がかかれて



おり、家族や支援者に向けた事例と対応などについても書かれています。1冊 1100 円で「国立のぞみの園」のホームページより購入できます。

あじさい 172 号でお知らせしましたが、郵便料金値上がりのため賛助会員さんお一人お一人にお礼状を送る代わりに広報紙面で謝意を表すことにさせていただきます。

10 月以降に賛助会費をいただいた方は

永田勝行様 です

ありがとうございました。

# おしらせ

社会福祉法人  
長崎市手をつなぐ育成会 広報部  
長崎市大橋町 19-19  
文教カテリーナ1F  
Tel:095-845-5677

timecare@nagasaki-shi-ikuseikai.jp

## フラワーアレンジメント・書道

フラワーは第2、第4土曜日の10:30、書道は第4土曜日の13:00から実施中です！  
フラワーは1回1500円、書道は1回600円です。

## 12月の定例会

日時：12月17日（火）10:00～12:00 「お楽しみおしゃべり会」

今年最後の定例会は1年を振り返りながら、お茶とお菓子をお供に楽しくおしゃべりしましょう

1月の定例会は1/22（水）を予定しています。

生活支援センター会議室（大橋）

定例会へのお申し込み、お問い合わせは啓発事務局 TEL845-5677 まで

## 12. 1月の本人活動「スマイルくらぶ」の予定

- 12/1(日)「稲佐山散策」  
9:30～14:30,参加費 700円+実費
- 12/8(日)「クリスマス会」  
9:30～14:30,参加費 700円+実費
- 12/14(土)「ゲーム&フラワーアレンジメント」  
9:30～14:30,参加費 800円+実費  
※フラワーのみ 10:30～11:30,参加費 500円+実費
- 12/15(日)「クリスマスケーキ作り」  
13:00～15:00,参加費 400円+実費
- 12/22(日)「レストランほたる&ペンギン水族館」  
9:30～15:30,参加費 800円+実費
- 12/28(土)「フラワーアレンジメント&書道」  
9:30～14:30,参加費ひとり 1000円+実費

## 令和6年11月より参加費を

値上げさせていただいております

令和7年

- 1/11(土)「新年親子のつどい」のため活動なし
- 1/12(日)「新年会（具雑煮作り）」  
9:30～14:30,参加費 700円+実費
- 1/12(月・祝)「映画」  
9:30～14:30,参加費 700円+実費
- 1/19(日)「ぜんざい作り」  
13:00～15:00,参加費 400円+実費
- 1/25(土)「フラワーアレンジメントのみ」  
10:30～11:30,参加費 500円+実費
- 1/26(日)「レストランほたる&ペンギン水族館」  
9:30～15:30,参加費ひとり 800円+実費

★各活動には定員があります。お申し込み、お問い合わせは啓発事務局まで

☎ 095-845-5677

メール登録いただければ定期的にご案内をお送りします。お申し込みや確認も便利です。

timecare@nagasaki-shi-ikuseikai.jp